



道の先にある究極

— 新たな白化の世界へ —

美しい日本の水田を守る さらなる進化を遂げた除草剤

 動画で確認

水稲用除草剤の
上手な使い方の
ポイント



水稲用一発処理除草剤

ウルティモ[®]Z

1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ・350FG



農林水産省「稲発酵粗飼料
生産・給与技術マニュアル」
に掲載された農薬です。

新規有効成分
サイラ[®]

×

ピラゾレート

+

プロピルスルフロン



三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社

ウルティモ、CYRA、サイラは三井
化学クロップ&ライフソリューション
株の登録商標
CYRA、サイラはシクロピリモレート
のブランド名です。

ウルティモ Z 1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ・350FG

除草剤分類 33,27,2

人畜毒性:普通物*

*「毒物および劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

特長

- サイラ×ピラゾレートの相乗効果で、ALS阻害剤抵抗性のオモダカ、コナギ、ミズアオイ、ホタルイ等に高い効果を示します。
- 強力な白化作用でイボクサ、アゼガヤ等の畦畔侵入雑草にも有効です。
- プロピリスルフロン配合で、クログワイ、コウキヤガラ、シズイ等の難防除多年生雑草に対して安定した効果を示します。
- 1キロ粒剤は田植同時処理が可能です。350FGはドローン等の散布にも適しています。

●適用雑草と使用方法

●ウルティモ Z 1キロ粒剤

■農林水産省登録 第24279号

■有効成分: サイラ(シクロピリモレート)…3.0%、ピラゾレート…6.0%、プロピリスルフロン…0.90%

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草 エノサヤヌカグサ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植時	1kg	1回	田植同時 散布機で施用
		移植直後～ ノビエ3.5葉期 ただし、 移植後30日まで			湛水散布 又は 無人航空機 による散布
直播水稲	一年生雑草 及びマツバイ、ホタルイ ヘラオモダカ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ	稲1葉期～ ノビエ3.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			

●ウルティモ Z フロアブル

■農林水産省登録 第24277号

■有効成分: サイラ(シクロピリモレート)…5.5%、ピラゾレート…11.0%、プロピリスルフロン…1.65%

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草 エノサヤヌカグサ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植後5日～ ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで	500m ²	1回	原液湛水散布、 水口施用又は 無人航空機 による滴下
		稲1葉期～ ノビエ3.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			原液湛水散布 又は 無人航空機 による滴下
直播水稲	一年生雑草 及びマツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ	稲1葉期～ ノビエ3.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			

●ウルティモ Z ジャンボ

■農林水産省登録 第24275号

■有効成分: サイラ(シクロピリモレート)…8.6%、ピラゾレート…17.1%、プロピリスルフロン…2.57%

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草 エノサヤヌカグサ	移植後5日～ ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで	小包装 (パック) 10個 (350g)	1回	水田に小包装 (パック)のまま 投げ入れる。
		稲1葉期～ ノビエ3.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			
直播水稲	一年生雑草 及びマツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ	稲1葉期～ ノビエ3.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			

●ウルティモ Z 350FG

■農林水産省登録 第24738号

■有効成分: サイラ(シクロピリモレート)…8.6%、ピラゾレート…17.1%、プロピリスルフロン…2.57%

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草 エノサヤヌカグサ	移植後5日～ ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで	350g	1回	湛水散布、 湛水周縁散布 又は 無人航空機 による散布
		稲1葉期～ ノビエ3.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			
直播水稲	一年生雑草 及びマツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ	稲1葉期～ ノビエ3.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			

各有効成分を含む農薬の総使用回数: シクロピリモレート剤…2回以内、ピラゾレート剤…2回以内、プロピリスルフロン剤…2回以内

●使用上の注意事項

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、1キロ粒剤はノビエの3.5葉期までに、フロアブルとジャンボと350FGはノビエの3葉期(直播水稲はノビエの3.5葉期)までに時期を失ないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果がフレが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。
- 【1キロ粒剤】多年生広葉雑草であるホタルイ、ヘラオモダカ、ウリカワは3葉期まで、ミスガヤツリは草丈10cmまで、クログワイは発生前～発生始期まで、オモダカは広線形葉2葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前～再生始期まで、コウキヤガラは発生始期まで、シズイは草丈3cmまで、また、エノサヤヌカグサは2葉期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前までが本剤の散布適期です。
- 【フロアブル】多年生広葉雑草であるホタルイ、ヘラオモダカ(移植水稲)、ウリカワ(移植水稲)は3葉期まで、ミスガヤツリは草丈10cmまで、ヘラオモダカ(直播水稲)、ウリカワ(直播水稲)は2葉期まで、クログワイは発生前～発生始期まで、オモダカは広線形葉2葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前～再生始期まで、コウキヤガラは発生始期まで、シズイは草丈3cmまで、また、エノサヤヌカグサは2葉期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前までが本剤の散布適期です。
- 【ジャンボ・350FG】多年生広葉雑草であるホタルイ、ヘラオモダカ、ウリカワは3葉期まで、ミスガヤツリは草丈10cmまで、クログワイは発生前～発生始期まで、オモダカは広線形葉2葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前～再生始期まで、コウキヤガラは発生始期まで、シズイは草丈3cmまで、また、エノサヤヌカグサは2葉期までが本剤の散布適期です。
- クログワイ、オモダカ、コウキヤガラ、シズイは、必要に応じて有効な前処理剤または後処理剤と組み合わせ使用してください。
- 散布に当たっては、水の出入りを止めて湛水のまま田面に均一に散布してください(1キロ粒剤)。
- 散布に当たっては、水の出入りを止めて湛水状態のまま本剤を水田全面にゆきわたるように散布してください(フロアブル)。
- 処理に当たっては、水の出入りを止めて水深5～6cmの湛水状態にし、散布後、自然減水により田面の一部が露出するようになり、水尻を止めて通常の水深になるまで水を入れて水を閉じてください(ジャンボ)。
- 散布に当たっては、水の出入りを止めて水深5～6cmの湛水状態にしてください。湛水散布の場合は田面に散布し、湛水周縁散布の場合は水田周縁部に沿って帯状に散布してください(350FG)。
- 本剤処理後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、田面を露出させたり水を切らしたりしないよう注意してください。また散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。止水期間中の入水は静かに行ってください。
- 本剤は小包装(パック)のまま10アール当たり10個の割合で水田に均等に投げ入れてください(ジャンボ)。
- 水田施用の場合は入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させてください。処理後田面水が通常の湛水状態(湛水深3～5cm)に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意してください(フロアブル)。
- 本剤を無人航空機による散布・滴下を使用する場合は次の注意事項を守ってください。また、水源地、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意してください。
 - 【1キロ粒剤・350FG】
 - 散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - 散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - 事前に薬剤の物理性に合わせて散布装置のメタリング開度を調整してください。
 - 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう注意してください。
 - 【フロアブル】
 - 滴下は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - 滴下に当たっては散布装置のノズルを使用しないでください。
 - 作業中、薬液が漏れないように機体の配管その他装置の十分な点検を行ってください。
 - 薬液の飛散によって適用作物以外の作物に影響を及ぼすおそれがあるので、周辺作物に薬液がかからないように風の影響等を十分考慮して滴下してください。
 - 本剤の滴下に使用した無人航空機の散布装置は、水稲以外の作物への薬剤散布には使用しないでください。
- 移植または播種前後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用する場合に、雑草の発生状況をよく観察し、時期を失ないように適期に散布してください。
- 本剤は直播水稲の表面播種では薬害が発生するおそれがあるため、表面播種での使用をさけてください。
- 稲の根が露出する条件下では薬害を生じるおそれがあるので、使用をさけてください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化及び植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を使用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 補植は必ず散布前に行ってください。
- 藻や浮草が多発している水田では、拡散が不十分となり、部分的な薬害や効果不足を生じる可能性があるため使用をさけてください(ジャンボ)。
- 藻や浮草が多発している水田では、拡散が不十分となり、部分的な薬害や効果不足を生じる可能性があるため、湛水周縁散布をさけ、本田内で水田全面に散布してください(350FG)。
- パックに使用しているフィルムは水溶性なので、ぬれた手で作業したり、降雨で破袋することのないように注意してください(ジャンボ)。
- 下記のような条件では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - 砂質土壌の水田及び漏水田(減水深2cm/日以上)
 - 軟弱な苗を移植した水田
 - 極端な浅植の水田及び浮き苗の多い水田
- 処理後著しい高温が続く場合には、稲にクロロシスを生じる場合があるが、その後の生育に対する影響は認められていません。
- 本剤はその殺草特性からいぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育前に隣接田で使用の場合は、十分注意してください。
- いぐさを栽培予定の水田では使用しないでください。
- 畜に対して影響があるので、周辺の農薬にはかからないようにしてください(フロアブル)。
- 空袋、空容器等は圃場などに放置せず、環境に有害な影響のないよう適切に処理してください(1キロ粒剤・フロアブル)。
- 散布田の水田水を他の作物に灌水しないようにしてください。
- 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、水管理を適正に行ってください。
- 散布器、ホース、ノズル、タンク等の器具は、使用後速やかに十分に水洗し、洗浄液は水田内で処理してください。また、使用した機器等は水稲用薬剤以外に使用しないでください(フロアブル)。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合には病害虫防除等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。●防除日誌を記載しましょう。

*本製品は水稲用除草剤であり、製品ラベルの記載以外には使用しないでください。

*本印刷物は2024年5月末日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。



三井化学クロップ&ライフ
ソリューション株式会社

東京都中央区日本橋1-19-1日本橋ダイビルディング
ホームページ <https://www.mc-croplifesolutions.com>
UZ1001F